

東海大学附属望星高等学校

同窓会々報 第10号

先生といふものは

校長 内木文英

私は強い影響を及ぼした先生が四人います。小学校の六年生の時担任していた塙穂幹先生、中学校の五年間担任していただいた谷鼎先生、きびしく文章を教えていただいた古谷綱武先生、そして童話をとおして文学や人生について考えさせて下さった坪田譲治先生の四人です。すべての先生が故人になられてしましましたが、この先生方の思いや願い、祈りといったものが私の身体や心の中に生きていて、私を支えてくれているよう思います。

教育といふものをシンプルな形にして考えてみますと、教える者と教わる者の人間関係である、と言えるでしょう。一人一人の人間の持つているエネルギーには、一口に言いあらわすことのできないものがありますが、そのさまざまな意味でのエネルギーがぶつかり合い、それがお互いを高い次元のものに押し上げていく。教育における人間関係にはそういう

ものがあるように思えます。単なる知識の授受ではないと言うことです。

いい先生になりたい、誰にも負けない先生になりたい、と先生になりたてだった頃、私は考えたものです。いいと思つたことはすぐ行動にうつし、夢中になつて生徒とともに生きたように思います。

二十代のはじめ頃のこと、その頃の生徒や先生方の中には、少々はげしすぎる

卒業生諸君。無理やり諸君たちをひっぱつてきて私のセンチメンタリズムに引き込もうとするほどのエネルギーはないが、諸君たちの方からたまには母校を訪ねて、あわただしい現代社会の動きを忘

たりする人も少くなかったように思いました。そして年数が経過して私も学校管理者の立場に追いやられるようになり、校長という仕事も、満十八年つとめたことになります。六十才を超えた頃からエネルギーが欠けてきたなと感ずることがあります。回顧的なものの中に心の安らぎを得ないような自分に気づくこともあります。

よいよ意氣地がなくなります。「ようようよう」と頬の筋肉をゆるめて、涙ぐましい気分にもなります。だらしがない、と自覚しながら、いいんだよそれで、と自分で自分を納得させたりします。あなたに苦労したんだから、こういううれしい一時があつたって、誰も責めたりはしない、責めることはできない、とそう考へるのです。

私がそうであるように、私の先生方もそうであつたに違ひない、とこの頃しみじみと思つたりします。
卒業生諸君。無理やり諸君たちをひっぱつてきて私のセンチメンタリズムに引き込もうとするほどのエネルギーはないが、諸君たちの方からたまには母校を訪ねて、あわただしい現代社会の動きを忘れ、純粹にロマンを求めて生きた時を回顧したらどうか。そんなふうに私は願つてゐるのでですよ。

現在は、一、ゴルフ、二、テニスがありますが、統一でスキーや空手のクラブも発足させる予定です。

在校中にスキーや空手部に在籍した方、又は、現在興味をおもちの方は事務局まで御連絡下さい。

同窓会クラブ案内

望星の卒業生に出会つたりすると、い



名簿発行に

ご協力を

同窓会々長
下倉良次

又々同窓会長を引き受ける事になりました。きつかけは内木校長先生の一言です。

昭和三十八年十月に入学した時（當時は年二回入学があった）、「多分半年間で交替すると思うが……」と言つて担任の挨拶をされたのが内木先生だった。教頭から校長先生となり、近寄りがたい存在となつた今でも、私にとっては“担任の内木先生”と親しみを感じています。

前同窓会長・松長根君が急逝し、後任を選ぶ役員会が開かれた。いろいろな意見がでて候補者を絞れないでいた時、それまで黙つて話を聞いていた内木校長が“一寸言わせてもらうよ”と言つて話を始めた。「誰にやらせようか」といふのでなく、自分から進んでこの危機を開けるんだ、という気持ちで話合つて欲しい。下倉どう思う」と私の顔を見ながら話された。この一言で私が引き受けた事になつた。

あります。資金の問題、事前調査の問題、販売方法等です。役員・年度委員の人達が一生懸命に努力していますが、やはり全会員のご協力がなくてはやつてゆけません。金谷事務局長を中心とした現在のスタッフは大変良く働いています。日当はもちろん、交通費も食事代等もすべて手弁当で協力しています。現在のまでは資金が不足しているのを充分に理解しているからです。本当に頭がさがります。名簿を作制する為には“版下”をまず

昨年から年度委員を通じて名簿に掲載する「広告」を募集しています。目標は一ページ四万円、二十五ページです。大口の協力者がありましたらぜひお願ひします。又会員の皆さんから少額でも、心のこもったご援助が得られれば幸です。皆さんのご協力ををお願いする次第です。

又名簿は正確である事が必要です。他校と違つて望星高校は卒業後の追跡調査が大変むずかしいのです。移動先からの連絡がないとこちらからの連絡は不可能です。仲間の人達の最新情報をぜひお知らせ下さい。特に集団入学生であったB・C・Dクラス等の方々の消息はほとんど

昭和61年度 役員名簿

会長	下倉 良次	昭和61年度役員紹介						
副会長	原沢 純一							
事務局長	貝毛秀五郎							
次長	山口 都年							
岩瀬美佐子	佐野 青塚							
吉川 紳一	竹内 仁							
	金谷 義孝							
53A —19期	53A —14期	48A —19期	50A —16期	54A —20期	52A —18期	57A —23期	43F —39期	39A —5期

タードに住所・氏名を打ち込み、この版下を作ります。このコンピューターからは宛名シールも打ち出せるので、今後の総会案内の発送作業も楽になる事が考えられ、ぜひ行いたいと思つています。が一名につき五百三十一円也の費用が必要です。総額で五十万にはなるでしよう。卒業生の少なかつた今は、手作業で何とかしのいで来ましたが、これからは仕事を減らし、役員・年度委員の負担を少なくする事が必要です。その為にこのコンピューター利用はぜひ実現したいと考えています。

昨年から年度委員を通じて名簿に掲載する“広告”を募集しています。目標は一ページ四万円、二十五ページです。大口の協力者がありましたらぜひお願ひします。又会員の皆さんから少額でも、心のこもったご援助が得られれば幸です。皆さんのご協力をお願いする次第です。

又名簿は正確である事が必要です。他校と違つて望星高校は卒業後の追跡調査が大変むずかしいのです。移動先からの連絡がないとこちらからの連絡は不可能です。仲間の人達の最新情報をぜひおらせ下さい。特に集団入学生であったB・C・Dクラス等の方々の消息はほとんど

どわからないのが現状です。たとえ一人でも知っている人がいたら連絡して下さ
い。お預けします。

一冊の名簿を手にすることで、同窓生の輪が広がり、連帯が強まり、会員相互の発展につながるならば、こんな嬉しいことはありません。その為にこの一年間努力する覚悟です。

皆さんのご協力をお願いします。

感謝と いうこと

第二十三期 貝毛秀五郎

ことわざに、「光陰矢の如し」とあるように月日の経つのは早いものである。四年の歳月が、「あつ」と言う間にすぎてしまつたような感がする。縁あって望星に入学して卒業するまでの様々な出来事が過去の思い出が懐かしく甦つてくる。私が見事に卒業できた事を考える時、感謝という言葉をしみじみと感じる昨今である。初めは、希望を大きく持つて入学したのが段々と色々な壁に当たり身動きができない状態であった。そのような時に諸先生の激励、諸先輩の激励、同級生の激励はもちろんの事であります。もう一つは、生徒会の役員を経験した事であります。果して務まるであろうか。生徒会のためになるだろうか、何の取り得ない自分、あきばついた自分、無責任な自分、生徒会を引き受けたくなるだろうかと、いう事が頭にあり、心配であつた。通信

学校だけに、様々な年齢の人、様々な職業の人、様々なバラエティにとんだ人がいて、実に勉強になり、楽しい有意義な学校生活を送る事ができた。夏になると四校スポーツ交歓会、合宿スクーリング、秋には文化祭、クラブがあり、様々な人たちの交流があり、人間と人間との暖かい心の交流ありで楽しい行事であった。

それから、私事であります、仕事と学業がうまくいかず苦しんだ日々、結婚と子供の誕生等で両立がむずかしく悩んだ日々、その他、細かい事がありました。四年間の中に色々な出来事があつた。この事は思い出になり、私の心の財産になり生涯心に残るであろう。途中で挫折しないで卒業できたのも、生徒会を三年間できたからであります。生徒会を抜いて語れないし、感謝をしている。最後に、同窓会の益々の発展を祈るのみです。

☆総合名簿制作準備中です。

住所・氏名等変更のある方は事務局まで御連絡下さい。

(事務局) 東京都中央区銀座8-15-10

銀座ダイヤハイツ301

金谷 義孝 宛
545-0593

「学校だより」

奥村 彰先生



◎ W・Pの各クラスで
最初の卒業生

Wクラスは、東京本校の水曜スクーリング生です。通信制高校では、日曜スクーリングが一般的でしたが、数年前より平日を希望する人達が増加してきました。これに対応して、望星高校では、四年前の五八年四月に、試みに募集しました。

ところが、予想以上に希望者が多く、多数の生徒が入学し、最近では、Aクラス(日曜スクーリング生)以上の人数となれないし、感謝をしている。最後に、同窓会の益々の発展を祈るのみです。

◎ 生徒会活動に応援を

最近の生徒は、低年齢化とクラブ活動などに対して無関心派が多くなつてきています。そのため生徒会活動が不活発になつていて、そこで、特に次の行事には、是非卒業生の多数の応援により活性化していただけたら幸いです。

Pクラスは、静岡県の東海文化専門学校にも在学している生徒達で、望星高校と技能連携がおこなわれています。

この技能連携とは、一定の教育条件を

☆ 四校スポーツ交歓会
七月二十六日 付属浦安高校

☆ 文化祭

十月二十五日 望星高校

そなえている各種学校などで勉強した科

